

学校自己評価 教職員アンケート集計結果

平成26年度

重点目標	具体的目標	具体的対策	評価	
			方策	項目
学習指導を充実させる。	基礎学力を養成する	1 成績不振者に対して個別指導を実施する。	3.1	B
	学習意欲の向上を図る。	2 検定試験受験および資格取得を奨励する。		
規律ある生活習慣を確立させる。	時間・服装・清掃を徹底する。	3 遅刻・早退・チャイム着席・清掃、提出物、挨拶の徹底を図る。	3.1	B
		4 定期的に頭髪・服装検査・登校指導を実施する。		
	問題行動を未然に防ぐ。	5 家庭や警察と連携し、問題行動の未然防止を図る。		
	6 生徒指導方針の意味を生徒・保護者へ理解させる。	6 生徒指導方針の意味を生徒・保護者へ理解させる。		
希望進路の実現を図る。	就職内定率を高める。	7 職業観・勤労観を育てるため、インターンシップや企業説明会への参加を促す。	3.1	B
		8 正確・迅速な求人情報等の提供を行う。		
	進学達成率を高める。	9 進路啓発のため、オープンキャンパスや進路相談会の参加を促進する。		
	10 小論文や面接の指導を充実させる。			
積極的に関わり、特色ある取り組みを行う。	協力する雰囲気を作成する。	11 学校行事(体育祭・稲穂祭)の充実を図るため、生徒の意見を取り入れた生徒主導型の企画・運営を行う。	2.9	B
		12 全員参加型の取組を増すことで農業クラブ員の積極的参加を促し全国入賞率を高める。		
	部活動の参加率を高める。	13 部活動への参加率を高める取組を積極的に行い、部活動の活性化と上位大会出場クラブの増加を目指す。		
学校と家庭の良好な関係を築く。	学校の様子が家庭によく伝わるようにする。	14 PTAの連絡文書が保護者に確実に伝わるようにする。	2.8	B
	家庭との協力体制を作る。	15 保護者がPTA活動(PTA総会、進路講演会、校外研修)に積極的に参加できるようにする。		
		16 年間3回PTA便りを発行し、広く行事や学校の様子を広報する。教職員もPTA活動に積極的に参加する。		
農業に貢献できる人材を育成する。	農業学習の関心・意欲を高める。	17 学習成果の発展の場として、校内研究発表会等を実施することで、プレゼン能力、課題解決能力を高める。	3.0	B
		18 農業関連の専門資格取得を奨励し、資格取得のための補習を充実させる。受検者数の増加と資格取得率の向上を図る。		
	農業教育の良さを理解させる。	19 積極的な地域交流を行い、地域への学習成果の情報発信を行うと同時にインターンシップの充実を図る。		
		20 教育課程を発展的に研究し、農業関連の進学や就職を促し、より良い農業教育を展開していく。企業の即戦力となる実力を身につけさせ、農業教育の充実を図る。		
			総合評価	
			B	

反省等

- ・生徒指導に対して教員間に温度差がある。
- ・農業関連の進学、就職意識を高めるための具体的方策を全専攻で検討する。また、その方策が外部に理解されるための情報発信が必要である。